

## 「日中関係再構築へのアピール」を採択

(公社)日中友好協会は6月17日、東京・千代田区の如水会館で第3回定時総会を開き、「日中関係再構築へのアピール」を採択した。「尖閣諸島」を巡って対立する日中両政府に対し、首脳交流の再開や対話を通じた関係改善、民間交流継続への協力などについて強く要請した。



アピールについて発言する出席者

今回のアピールは、「こじれた日中関係を何とか改善したい」という協会の強い思いを反映したもの。昨年9月の日本政府

による尖閣諸島の国有化以来、日中間の民間交流は停滞を余儀なくされており、協会活動にも大きく影響し困難な状況が続いている。総会に出席した役員および都道府県日中友好協会の代表らは、こうした現状をふまえ、「日中関係の再構築に向けて一層努力すること」で一致。強い決意とともに、両国政府が対話を通じて歩み寄ることなどを訴えたアピールを発信することに決めた。出席者からは「協会がオピニオンリーダーとして、関係改善策を打ち出していくべきだ」などの積極的な意見が多く出た。

### 《日中関係再構築へのアピール》

本日、公益社団法人日本中国友好協会は、東京で第3回定時総会を開催し、「日中関係の再構築に向けて一層努力していく」という決意を新たにします。

日中両国は2000年の友好往来の歴史を持っており、また、近代においては50年余りの対立と戦争の歴史があります。当協会は1950年創立以来、両国関係の改善のために尽くしてきました。1972年の日中国交正常化の実現から41年を経て、経済・文化・人事等の交流は大きく発展しました。両国国民だけでなく、アジア各国および世界の人々に幸せと富をもたらしたという事実は私たちの誇りであります。

昨年来、両国は「尖閣諸島」を巡って対立し、緊張した関係に陥っております。そして、その深刻な影響は各方面の交流にまで広がってしまいました。両国国民の感情にも残念な結果として表れているのが現実です。

このような状況を改善するため、当協会は日本政府と中国政府が首脳交流を再開させ日中平和友好条約の精神と原則を守り対話を行うよう強く要請します。

また、日中両国の民間団体等が行う交流に対する両国関係当局のご支援とご協力を強く要望し、期待します。

当協会は、一日も早く日中関係を再構築し、正常な軌道に戻すことを願っており、そのためのさまざまな活動を都道府県の日中友好協会、市区町村の日中友好協会と手を携えて行っています。関係各位、各界の皆さま、日中両国の有識者の皆さま、この困難な局面を平和的な解決のために共に努力しようではありませんか。

日中両国の友好発展を目指す当協会の事業にご理解をお願い申し上げます。

2013年6月17日

公益社団法人日本中国友好協会第3回定時総会